

## 学校法人専修大学 平成 30 年度予算について

標記の件について、別紙「平成 30 年度予算書」を記載のとおり編成しましたので、その概要を説明いたします。

### 1 予算編成方針

- (1) 目 標 事業計画の推進と平成 33 年度に向けた健全財政確保の両立
- (2) 基本方針
  - ① 教育・研究環境の質的向上を図る上で、適正な予算編成の実施
  - ② 経常経費の適正化の推進（31 年度までに教育研究経費支出と管理経費支出で、対 29 年度当初予算比 2% の削減を目標とし、30 年度は 1% の削減を目指す。）
  - ③ 効果的な予算配分を実施する観点から必要なヒヤリングの実施
  - ④ 基本金組入前当年度収支差額の安定的な収入超過を図るために必要な予算査定の実施
  - ⑤ 中期計画上の施設設備拡充・整備事業計画を推進するために必要な資金確保
  - ⑥ 予算制度を確立するという観点から、当初予算に計上された事業以外の項目については、原則的には当年度での対応を見送る（基本的には特別な事情を除き、補正予算の対象としない。）。

### 2 資金収支予算 ー前年度予算額との比較ー

〔 概 要 〕

総額は、318 億 1,934 万円で前年度予算に比べ 4 億 6,409 万円の増(前年度予算比 1.48%増)の予算規模となっている。

収入の部では、当年度収入合計が前年度予算に比べ 1 億 3,290 万円の増(前年度予算比 0.54%増)で 246 億 4,908 万円。前年度繰越支払資金は、前年度予算に比べ 3 億 3,119 万円の増で 71 億 7,026 万円となっている。

支出の部では、当年度支出合計が前年度予算に比べ 15 億 6,456 万円の増（前年度予算比 6.47%増）で 257 億 4,955 万円。翌年度繰越支払資金は、翌年度の収入となる前受金収入を含み、前年度予算に比べ 11 億 47 万円の減で 60 億 6,979 万円となっている。

〔 内 容 〕

#### (1) 収入の部

- ① 学生生徒等納付金収入は、前年度予算に比べ 4 億 8,289 万円の減（前年度予算比 2.35%減）で 201 億 435 万円。新入生の人数（学部・学科・大学院）を専大で 4,228 人、石巻専大で 336 人を見込み、全体で 4,564 人を見込んでいる。また、全学年では、学費完納見込者数を専大で 18,172 人、石巻専大で 1,127 人を見込み、全体で 19,299 人を見込んでいる。
- ② 手数料収入は、前年度予算に比べ 139 万円の減（前年度予算比 0.14%減）で 10 億 991 万円。このうち、入学検定料収入は、前年度予算に比べ 65 万円減の 9 億 7,435 万円を計上している。

- ③ 寄付金収入は、周年記念事業に伴う特別寄付金として前年度予算と同額の 5 億円を見込んでいる。
- ④ 補助金収入は、前年度予算に比べ 5 億 5,690 万円の増（前年度予算比 57.32%増）で 15 億 2,849 万円。このうち、国庫補助金収入は、経常費補助金と研究設備補助金の増を見込み、前年度予算に比べ 5 億 5,685 万円の増（前年度予算比 58.22%増）で 15 億 1,333 万円を計上している。
- ⑤ 資産売却収入は、前年度予算に比べ 3,658 万円増（前年度予算比 22.38%増）で 2 億円。
- ⑥ 付随事業・収益事業収入は、前年度予算に比べ 4,299 万円の減（前年度予算比 6.39%減）で 6 億 2,964 万円。補助活動事業収入、受託事業収入等の減を見込んでいる。
- ⑦ 受取利息・配当金収入は、前年度予算に比べ 224 万円の減（前年度予算比 3.80%減）で 5,689 万円。
- ⑧ 雑収入は、前年度予算に比べ 2 億 6,464 万円の減（前年度予算比 30.97%減）で 5 億 8,995 万円。退職金財団交付金収入等の減を見込んでいる。
- ⑨ 借入金等収入は、前年度予算と同様で当年度の計上額はない。
- ⑩ 前受金収入は、平成 31 年度入学者の入学手続き時の納入学費（翌年度の学生生徒等納付金収入となる。）で、前年度予算に比べ 1 億 8,569 万円の減（前年度予算比 4.89%減）で 36 億 1,442 万円。
- ⑪ その他の収入は、前年度予算に比べ 1 億 2,240 万円の減（前年度予算比 14.86%減）で 7 億 120 万円。前期末未収入金収入、貸付金回収収入の減を見込んでいる。
- ⑫ 資金収入調整勘定（収入の振替控除科目）は、期末未収入金及び前期末前受金で前年度予算に比べ 6 億 4,169 万円 振替控除額の減（前年度予算比 13.02%減）で 42 億 8,579 万円。平成 30 年度退職教職員に係る退職金財団交付金収入等の期末未収入金及び平成 29 年度前受金収入をそれぞれ計上している。

## (2) 支出の部

- ① 人件費支出は、前年度予算に比べ 2 億 5,378 万円の減（前年度予算比 1.74%減）で 143 億 4,200 万円。退職金等の減による。
- ② 教育研究経費支出は、前年度予算に比べ 4,689 万円の減（前年度予算比 0.95%減）で 49 億 924 万円。主な科目の予算額（前年度予算との増減）及びその内容は以下のとおり。
- ・ 消耗品費支出：2 億 8,459 万円（3,805 万円の減）  
ネットワーク情報学部パソコン実習等教材費、授業運営用ソフトウェア、各実習室・実験室消耗品、教員室 CD デッキ、教員個人研究費消耗品、研究助成消耗品、体育実技用具、神田体育室心拍計、各種課外講座教材費等消耗品、学位記ファイル、学生用

就職関連参考書籍、各セミナーハウス消耗品、国際交流会館消耗品、石巻学生実験消耗品、受託研究費消耗品等

- ・光熱水費支出：6億34万円（4,773万円の減）  
電気料、ガス料、重油・灯油代、上下水道料等
- ・奨学費支出：8億394万円（2億5,600万円の増）  
新入生特別奨学生、学術奨学生、スカラシップ奨学生、進学サポート奨学生、大学院学術奨学生、法科大学院新入生学術奨学生、今村力三郎記念奨学生、神山奨学生、家計急変奨学生、災害見舞奨学生等
- ・修繕費支出：6,330万円（4,541万円の減）  
神田校舎受変電設備劣化部品交換工事、生田1号館外壁漏水対策工事、生田4号館及び生田会館空調用冷却塔修理、生田9号館アトリウムトップライトシーリング打替工事、教室椅子等修理、伊勢原体育施設共用トイレ修繕、専フィル楽器修理、石巻構内タイル補修、実験室照明取付及び空調機修理工事、学生実験機器修理等
- ・委託費支出：13億2,220万円（8,410万円の減）  
大学生基礎力レポート集計、学部案内Web対応、授業評価集計、学生安否確認サービス、大学直通バス運行、図書整理・受入・閲覧業務、法律総合講座等各種課外講座、各留学プログラム、CALL教室運用サポート、入試合否案内システム、受付・校舎管理業務、校舎清掃業務、建物・設備管理業務、オートバイ通学対応指導員、飲酒事故防止講習会、卒・入学式会場設営、各教育事務所管人材派遣、セミナーハウス管理業務、石巻学生寮管理業務、新入生共通基礎学力テスト実施等
- ・保守費支出：4億250万円（4,656万円の減）  
ポータルシステム、教育研究用コンピュータシステム、教育支援基盤システム、就職支援システム、教員メールシステム、Web履修登録システム、学内統合認証システム、研究者情報システム、図書システム、電話設備、エレベータ、消防設備、受変電設備、中央監視設備、空調機、石巻核磁気共鳴装置、電界放出形走査顕微鏡等
- ・雑費支出：3,937万円（1,193万円の減）  
留学プログラム海外緊急事故支援システム費、集中授業経費、サテライトキャンパス維持費、入学試験関係宿泊費、大学入試センター試験成績提供料、リース契約取引固定資産税等

③ 管理経費支出は、前年度予算に比べ6,644万円の減（前年度予算比4.50%減）で14億1,047万円。主な科目の予算額（前年度予算との増減）及びその内容は以下のとおり。

- ・委託費支出：4億5,196万円（3,647万円の減）  
危機管理顧問契約、ニュース専修発送、公用車運行管理業務、入学ガイド発送、入学センターインフォメーション業務、オープンキャンパスチラシ等発送、専修ムービー映像制作、受付・校舎管理業務、校舎清掃業務、建物設備管理業務、規程集更新データ作成、ホームカミングデー会場設営、各管理事務所管人材派遣、職員研修、体育寮給食業務、セミナーハウス管理等
- ・広告費支出：3億1,656万円（1,619万円の増）  
駅看板掲出、電車内窓上広告、学生募集関連広告、求人広告等

④ 借入金等利息支出は、前年度予算に比べ681万円の増で1,002万円。

- ⑤ 借入金等返済支出は、前年度予算に比べ1億1,103万円の増で償還計画に基づく返済額。
- ⑥ 施設関係支出は、前年度予算に比べ15億6,806万円の増（前年度予算比120.06%増）で28億7,414万円。主な内容は、後記の〔主な施設等整備事項〕で記載している。
- ⑦ 設備関係支出は、前年度予算に比べ8億9,122万円の増（前年度予算比219.97%増）で12億9,638万円。このうち、教育研究用機器備品支出は、前年度予算に比べ9億800万円の増で11億978万円。教育研究用コンピュータシステム更新、学内LANネットワーク機器更改、シラバスシステム、神田7号館731教室視聴覚設備、生田4号館410教室机・椅子、生田10号館視聴覚設備、教員個人研究費機器備品、伊勢原多目的グラウンドスコアボード、石巻学生実験機器、マシニングセンタ・CAMソフト等、図書支出は、前年度予算に比べ840万円の減で1億8,455万円。
- ⑧ 資産運用支出は、前年度予算と同額で6億5,001万円。有価証券購入支出は、2億円を計上。第2号基本金引当特定資産繰入支出、退職給与引当資産繰入支出、施設設備準備資産繰入支出は計画による繰入額。
- ⑨ その他の支出は、前年度予算に比べ3億6,787万円の減（前年度予算比20.28%減）で14億4,651万円。このうち、前期末未払金支払支出は、前年度予算に比べ3億7,247万円の減で、13億5,532万円。平成29年度末に退職の教職員退職金、過年度リース契約取引の平成30年度リース料等。
- ⑩ 予備費は、前年度予算と同額で1億5,000万円。
- ⑪ 資金支出調整勘定（支出の振替控除科目）は、期末未払金及び前期末前払金で、前年度予算に比べ2億7,755万円振替控除額の増（前年度予算比20.12%増）で16億5,704万円。平成30年度末に退職する教職員の退職金、3月分退職金財団掛金及び日本私立学校振興・共済事業団掛金等未払金、平成29年度末における和雑誌・洋雑誌の購入に係る前払金の回収見込額をそれぞれ計上。

〔主な施設等整備事項〕

#### 専修大学

- ①神田1号館研究室増設他改修工事基本設計 ②神田2号館共用部廊下照明器具更新工事 ③神田新校舎（仮称）新築工事費および申請手数料 ④生田1号館高圧受変電設備改修工事 ⑤生田8号館空調改修工事 ⑥生田11号館学内放送設備設置工事 ⑦生田第1体育館出入口防鳩ネット設置工事 ⑧生田第2体育寮浴室系統給湯設備改修工事 ⑨伊勢原体育寮厨房用ボイラー更新工事

#### 石巻専修大学

- ①硬式野球部ブルペンテントハウス新設工事

### 3 事業活動収支予算

#### 〔概要〕

事業活動収支予算では、事業活動収入計が前年度予算に比べ2億3,727万円の減（前年度予算比0.96%減）で245億6,935万円。事業活動支出計は、前年度予算に比べ6億7,343万円の減（前年度予算比2.81%減）で232億8,023万円となり、基本金組入前当年度収支差額は、12億8,912万円となっている。基本金組入額合計は、前年度予算に比べ9億7,448万円の組入額増（前年度予算比40.21%増）で△33億9,812万円となり、基本金組入前当年度収支差額と基本金組入額合計を合わせた当年度収支差額は、前年度予算に比べ支出超過の額が5億3,832万円の増（前年度予算比34.27%増）で△21億900万円となっている。前年度繰越収支差額（△362億7,613万円）を加えた翌年度繰越収支差額は、△383億8,514万円となっている。

#### 〔内容〕

※事業活動区分ごとに、前記の資金収支予算と共通の科目を除く事業活動予算特有のものについて説明。

#### (1) 経常収支

##### ① 教育活動収支

教育活動収入計は、前年度予算に比べ2億2,313万円の減（前年度予算比0.92%減）で240億5,902万円。教育活動支出計は、前年度予算に比べ6億5,071万円の減（前年度予算比2.74%減）で231億327万円となり、教育活動収支差額は、9億5,575万円となっている。

##### (事業活動収入の部)

- ・ 寄付金は、施設設備寄付金を除いたもので、前年度予算と同額の2億円。周年記念事業に伴う特別寄付金。
- ・ 経常費等補助金は、施設設備補助金を除いたもので、前年度予算に比べ5億6,879万円の増（前年度予算比59.47%増）で15億2,516万円。国庫補助金では、経常費補助金の増を見込んでいる。

##### (事業活動支出の部)

- ・ 人件費は、前年度予算に比べ2億1,853万円の減（前年度予算比1.50%減）で143億9,556万円。退職給与引当金繰入額8億1,917万円（2億6,854万円の減）を含んでいる。
- ・ 教育研究経費は、前年度予算に比べ3億2,946万円の減（前年度予算比4.44%減）で70億8,980万円。減価償却額21億8,056万円（2億8,257万円の減）を含んでいる。
- ・ 管理経費は、前年度予算に比べ1億271万円の減（前年度予算比5.97%減）で16億1,789万円。減価償却額2億742万円（3,626万円の減）を含んでいる。

##### ② 教育活動外収支

教育活動外収入計は、前年度予算に比べ224万円の減（前年度予算比3.80%減）で5,689万円。教育活動外支出計は、前年度予算に比べ681万円の増（前年度予算比211.95%増）で1,002万円となり、教育活動外収支差額は、4,687万円となっている。

③ 経常収支差額

教育活動収支差額と教育活動外収支差額を合わせた経常収支差額は、10億262万円となっている。

(2) 特別収支

特別収入計は、前年度予算に比べ1,189万円の減（前年度予算比2.56%減）で4億5,343万円。特別支出計は、前年度予算に比べ2,952万円の減（前年度予算比63.55%減）で1,693万円となり、特別収支差額は、4億3,649万円となっている。特別収支の科目別内訳は以下のとおり。

① 特別収入

科目別内訳

その他の特別収入

施設設備寄付金	30,000万円
受贈および編入図書	15,000万円
その他の受贈資産	10万円
施設設備補助金	333万円

② 特別支出

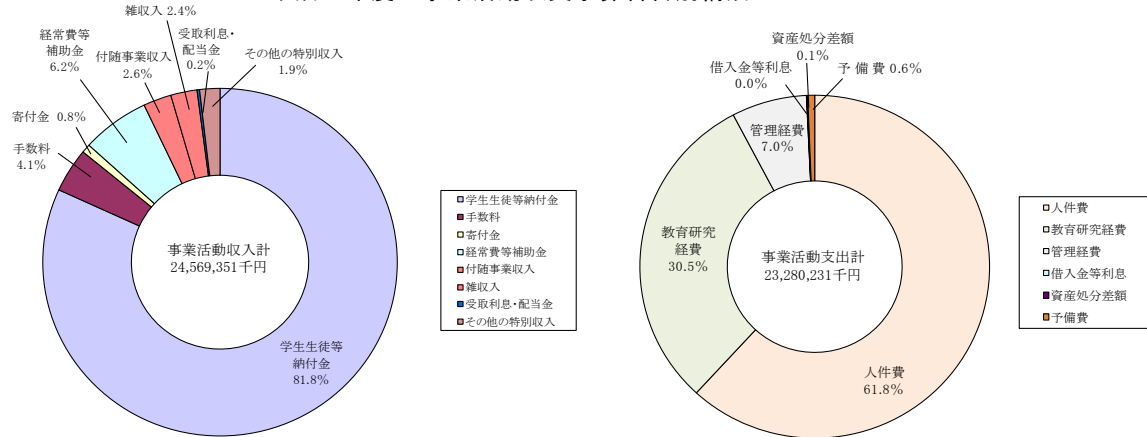
科目別内訳

資産処分差額

設備処分差額	1,693万円
--------	---------

(表1)

## 平成30年度 事業活動収支予算科目別構成



(表2)

## 主要財務比率

比率	算式 (×100)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算)
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	58.51 % (52.8 %)	59.58 % (52.4 %)	60.67 % (50.9 %)
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	73.44 % (71.9 %)	74.61 % (72.4 %)	72.98 % (73.3 %)
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	34.24 % (31.2 %)	31.13 % (31.5 %)	33.12 % (31.2 %)
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	7.98 % (9.2 %)	7.73 % (8.8 %)	8.08 % (9.0 %)
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入} - \text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	△1.62 % (4.8 %)	0.59 % (5.2 %)	△3.34 % (7.2 %)

備考：( )内は日本私立学校振興・共済事業団調査による医歯系法人を除く大学法人平均値を示す。

## 学校法人会計基準改正に伴う新たな財務比率

比率	算式 (×100)	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算)	平成29年度 (補正予算)	平成30年度 (予算)
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	60.43 % (53.7 %)	60.85 % (53.6 %)	60.04 %	59.69 %
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	72.89 % (73.0 %)	71.72 % (72.8 %)	70.99 %	71.60 %
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	31.07 % (33.2 %)	29.97 % (33.0 %)	30.48 %	29.40 %
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	7.55 % (9.3 %)	7.36 % (9.0 %)	7.07 %	6.71 %
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	△5.37 % (4.7 %)	1.95 % (4.9 %)	3.44 %	5.25 %

備考：経常収入は、教育活動収入計と教育活動外収入計の合計

備考：( )内は日本私立学校振興・共済事業団調査による医歯系法人を除く大学法人平均値を示す。